

**JASDAQ**

平成 27 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 ストライダーズ
代表者名 代表取締役社長 早川 良一
(J A S D A Q ・ コード 9 8 1 6)
問合せ先 管理本部長 若原 義之
電 話 0 3 - 5 7 7 7 - 1 8 9 1

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 14 日に公表いたしました、平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想と実績値との差異（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,100	百万円 70	百万円 70	百万円 50	円 銭 0.60
実績値 (B)	3,642	87	83	73	0.86
増減額 (B - A)	542	17	13	23	—
増減率 (%)	17.5	24.3	18.6	46.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	2,690	45	91	133	1.64

2. 差異の理由

当期の業績につきましては、不動産賃貸管理事業において新規管理物件の獲得が順調に推移し、また、高い入居率を確保することができたこと等により、予想を上回る売上および利益を計上することができました。

また、ホテル関連事業の業績につきましても、成田ゲートウェイホテル株式会社において台湾をはじめとするアジア地域からの観光客を安定的に確保することにより高い稼働率を保つことができました。また、平成 26 年 6 月 30 日に子会社化した株式会社倉敷ロイヤルアートホテルはホテルのリブランド等に伴う一時的な費用を計上したことにより利益貢献はなかったものの、売上高の増加に寄与し、予想を上回る売上および利益を計上することができました。

それらの結果、連結の売上高、営業利益、経常利益、および当期純利益は予想を上回りました。

以 上